

Back to おがわぎかい No.103

議会だよりを読んだ感想を議員がインタビュー

小川町に
恩返しをしたい

たかはしももこ
高橋桃子さん
(稲荷町)
TAKAHASHI Momoko



前号の議会だより(No.103)で「読んでよかった」と思ったのは、どの記事でしたか？

一般質問のコーナーと、端々に寄せられている町の方々の声です。子どもたちも毎号、「誰がいる？」とのぞきにきてくれます。身近に感じる話題も、普段は気づきにくい話題も、たくさんの写真と解説入りで分かりやすく、自分たちの住む町のことを考えるきっかけになっていると思います。

—議会だよりへ「ひとこと」！

小川町に越してきて9年目、これまでずっと町の方々に温かく迎え入れてもらい、支えていただきました。自分にできることは小さなことばかりですが、少しずつでも小川町に恩返しができるようになりたいです。これからもいろいろな声が伝わる議会だよりを受け取っていきたいです。



高橋さんイチオシの
記事はP.14～の「一般質問」



Gikai's comment 議会では、多くの議員がテーマを決めて一般質問に臨んでいます。会議録も御一読ください。

わたしのコメント

町民の声、「聴きます×つながります」

だから 小川が好き！

町への想いを寄稿していただくコーナー

小川のワ

きしまだいすけ
木島大介さん
(青下畑中)
KIJIMA Daisuke

私も妻も、生まれも育ちも生粋の小川っ子。そんな私達が感じているのは、人の輪の強さや温かさ。



息子が所属している

サッカーのスポーツ少年団は指導者・保護者・子どもたちの関係もよく、現役Jリーガーも来訪してくれる。これは団の輪の強さを表していると思います。私自身も町内のソフトボールチームに所属しており、そこでも人とのつながりの輪を広げさせていただいています。子どもたちが通っている小学校にも、同級生や先輩後輩、かつての先生など大きな輪を感じることができます。小川町で暮らしていて、人の輪に触れ、笑いあい、和気藹々と生活できるこの色々な「ワ」を、これからも大事にしていければと思います。

次の定例会は

9月1日(木)～

午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。詳しくは小川町ホームページへ



補欠選で2人の新議員が誕生

5月22日投票の小川町議会議員補欠選挙で、2人の新議員が誕生しました。任期は、令和4年5月22日から令和5年9月4日です。

鈴木秀尚議員(厚生文教常任委員会)

稲村壤治議員(経済建設常任委員会・議会広報発行特別委員会)

●今号の表紙●

受け継がれていく歴史と伝統

戦後間もない1949年、和紙の普及を図るためにスタートした七夕まつり。感染症対策を徹底し無事に終え、来年へと受け継がれていく。



編集後記 議会報は、まず「町民の皆さんに読んでもらうこと」を最大の目的に、多くの研修と専門家の指摘を受け、創意工夫や議論の上に編集しています。今後も「町民の皆さんにとって身近な議会報」になるよう努めます。御意見をお寄せください。(山口)

発行責任者：小川町議会議長 山口勝士

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 高橋功人 副委員長 田中照子

委員 高瀬 勉・笹本孝幸・五十嵐康博

稲村壤治



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています

議員の

議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ 571人
(★印は今号取材)

※No.80以降の合計人数

